

令和3年7月14日
九州地方整備局

九州国土交通研究会、今年はオンラインで開催

～ 九州地方整備局の取り組みを発信します ～

- ▶ 九州国土技術研究会は、九州地方整備局をはじめとする関係機関の職員が、日頃から取り組む業務上の課題について研究や検討を重ね、その成果を発表する場です。
- ▶ この研究会は、昭和25年に「管内技術研究発表会」としてスタートし、平成14年に「九州国土交通研究会」と名を改め、現在まで半世紀以上にわたって開催しています。
- ▶ 今回は2年ぶりの開催となり81課題がエントリー。昨年発生した「令和2年7月豪雨」における取り組みについても発表します。
- ▶ 特別講演として、「ファンタジー営業部」生みの親のひとりである前田建設工業株式会社 岩坂照之様より、オンラインにてご講演をいただく予定です。
- ▶ 本研究会は、(一社)全国土木施工管理技士会連合会認定のCPDS学習プログラム（形態コード403に該当する年間単位取得上限のあるインターネット学習）です。

1. 日時

令和3年7月29日（木）～30日（金）の2日間 ※別紙参照

【7月29日（木）】10時00分～16時20分（予定）

【7月30日（金）】9時30分～16時45分（予定）

2. 場所

オンライン（Microsoft Teams）

3. 聴講方法

- ・聴講費は無料です。
- ・申し込みが必要です。申し込み方法は「一般聴講」「CPDS・CPD聴講」の2種類があります。
- ・申込者多数の場合は、通信環境への負荷軽減の観点から、人数制限（先着順）を設けてさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

- ・聴講時の留意事項は、「聴講受付通知」と合わせて7月27日（火）までにメールにて連絡いたします。
- ・聴講申し込みにおいて得られた個人情報については本目的以外には使用致しません。

[注意事項]

オンライン開催のため当日の通信状況により聴講ができない場合がございます。責任は負いかねますことを予めご了承下さい。

(1) 一般聴講の方

- ・「聴講申込用紙（一般用）」をダウンロードしていただき必要事項を記入の上、お申し込み下さい。

(2) CPDS・CPD 聴講の方

- ・「聴講申込用紙（CPDS・CPD用）」をダウンロードしていただき必要事項を記入の上、お申し込み下さい。

【申込期限】 令和3年7月19日（月）17時必着

【申込方法】 電子メール ※件名は「九州国土交通研究会 聴講申込」

【申込先】 九州国土交通研究会事務局 qsr-kikaku@mlit.go.jp

4. 中止について

災害の発生等により本研究会が中止になる場合は、九州地方整備局ホームページにてお知らせします。

[URL] <http://www.qsr.mlit.go.jp/index.html>

5. その他

プログラムと論文は下記URLよりダウンロードできます。

[URL] <http://www.qsr.mlit.go.jp/useful/n-shiryo/kikaku/r3kenkyu/index.html>

【問い合わせ先】

九州国土交通研究会事務局（九州地方整備局企画部企画課内）

佐々部 智文（企画部 企画課長補佐）（内線 3152）

福岡市博多区博多駅東2丁目10番7号 福岡第二合同庁舎

T E L (092) 471-6331（代表）

令和3年度 九州国土交通研究会プログラム

日	時間割	プ ロ グ ラ ム										
第一日 7月29日 木曜日	10時	00	開 会 式									
		15	・開会挨拶 ・運営説明									
	11時	30	第1会場 (Ⅰ部門) No.1-No.4 (4課題)	30	第2会場 (Ⅱ部門) No.1-No.4 (4課題)	30	第3会場 (Ⅲ部門) No.1-No.4 (4課題)	30	第4会場 (Ⅳ部門) No.1-No.4 (4課題)	30	第5会場 (Ⅴ部門) No.1-No.4 (4課題)	
		12時	昼 食									
	13時	00	第1会場 (Ⅰ部門) No.5-No.13 (9課題)	00	第2会場 (Ⅱ部門) No.5-No.13 (9課題)	00	第3会場 (Ⅲ部門) No.5-No.13 (9課題)	00	第4会場 (Ⅳ部門) No.5-No.13 (9課題)	00	第5会場 (Ⅴ部門) No.5-No.13 (9課題)	
	14時											
	15時											
16時	20		20		20		20		20			
第二日 7月30日 金曜日	9時	30	(Ⅰ部門) No.14-No.17 (4課題)			30	(Ⅲ部門) No.14-No.20 (7課題)	30	(Ⅳ部門) No.14-No.15 (2課題)	30	(Ⅴ部門) No.14-No.16 (3課題)	
	10時						10		30			
	11時	00										
	12時	昼 食										
	13時	15	特別講演 「『ファンタジー営業部』の異業種共創手法で、新サービスを生み出す」									
	14時		／ 前田建設工業株式会社 岩坂 照之 氏									
	15時	15	表彰式準備									
16時	30	表 彰 式										
		・講評(各部門審査委員長) ・審査結果発表										
	45	閉 会										

会場 オンライン (Microsoft Teams)

※審査会場：福岡第二合同庁舎 2F第2～6共用会議室

- 第1会場 Ⅰ部門 『安全・安心』
- 第2会場 Ⅱ部門 『アセットマネジメント』
- 第3会場 Ⅲ部門 『アカウントビリティ、働き方改革、DX、用地補償等』
- 第4会場 Ⅳ部門 『まちづくり、交通、環境、事業効果等』
- 第5会場 Ⅴ部門 『イノベーション』

第1会場（1部門）

『安全・安心』

[防災・減災(災害復旧含む)]

(第1日目)令和3年7月29日(木)

セッション	No.	発表時間	発表課題名	所属	発表者
1A	1	10:30~10:48	災害復旧事業における境界立会について	筑後川河川事務所	牟田 慎司
	2	10:50~11:08	画像解析による流量観測について	山国川河川事務所	中嶋 将之
	3	11:10~11:28	阿蘇大橋地区斜面对策事業の完成報告 ～施工から管理に向けた取り組み～	阿蘇砂防事務所	徳永 一樹
	4	11:30~11:48	六角川水系牛津川における令和元年8月出水により越水した堤防箇所の安全度調査について	武雄河川事務所	堤 隆瑛
		11:50~12:50	昼 食		
1B	5	13:00~13:18	熊本地震により被災した長陽大橋ルート(村道板の木~立野線)の復旧について	熊本復興事務所	川上 晃一郎
	6	13:20~13:38	西九州自動車道における切土法面設計・施工の取り組みについて	佐賀国道事務所	石橋 佑介
	7	13:40~13:58	無電柱化事業における非破壊調査を用いた地下埋設物の検証について	福岡国道事務所	木下 剛志
		14:00~14:10	発表者入れ替え		
1C	8	14:10~14:28	砂防版・地域コミュニケーションの活動報告	川辺川ダム砂防事務所	豊福 幸哉
	9	14:30~14:48	令和2年7月豪雨における筑後川の自噴現象について	筑後川河川事務所	北島 夏実
	10	14:50~15:08	避難行動へ繋がる地域と連携した取り組みについて	筑後川ダム統合管理事務所	江口 紅霸
		15:10~15:20	発表者入れ替え		
1D	11	15:20~15:38	名瀬港防波堤(沖)の災害対策の設計について	下関港湾空港技術調査事務所	金城 和希
	12	15:40~15:58	令和2年7月豪雨における漂流物回収の取組について	熊本港湾・空港整備事務所	内田 健介
	13	16:00~16:18	大分港(大在西地区)岸壁の耐震設計について	下関港湾空港技術調査事務所	田代 浩気

(第2日目)令和3年7月30日(金)

セッション	No.	発表時間	発表課題名	所属	発表者
1E	14	9:30~9:48	赤谷川災害復旧事業における水理模型実験を用いた流木捕捉施設の検討について	筑後川河川事務所	北島 大基
	15	9:50~10:08	簡易遠隔操縦装置(ロボQS)の高度化に関する報告について	九州技術事務所	岡島 朝治
	16	10:10~10:28	令和2年7月豪雨、下釜ダム、初！、異常洪水時防災操作を実施 ～そのときにながら起こっていたのか～	筑後川ダム統合管理事務所	吉村 研人
	17	10:30~10:48	令和2年7月豪雨により発生した国道210号の災害について	大分河川国道事務所	黒川 恵美

第2会場（II部門）

『アセットマネジメント』

[維持管理]

(第1日目)令和3年7月29日(木)

セッション	No.	発表時間	発表課題名	所属	発表者
2A	1	10:30～10:48	国道10号(佐伯地区)の植栽管理向上計画について	佐伯河川国道事務所	東 真杜
	2	10:50～11:08	変朽安山岩層における斜面对策工について	鹿児島国道事務所	松田 晃汰
	3	11:10～11:28	桜島降灰清掃に関する課題	大隅河川国道事務所	後藤 勇二
	4	11:30～11:48	既供用トンネルコンクリート舗装の表面すべり抵抗値改善施工について	八代河川国道事務所	野田 祥矢
		11:50～12:50	昼 食		
2B	5	13:00～13:18	海の中道海浜公園のユニバーサルデザインの取り組みについて	国営海の中道海浜公園事務所	東岡 ともえ
	6	13:20～13:38	航路に流入する土砂を活用した漁場形成について	別府港湾・空港整備事務所	廣渡 美涼
	7	13:40～13:58	指宿港海岸海岸協力団体の指定について	鹿児島港湾・空港整備事務所	末藤 めぐみ
		14:00～14:10	発表者入れ替え		
2C	8	14:10～14:28	自然流体力で土砂流入を防止する用水構造設計 ～歴史的河川構造物を参考とした「象の鼻」構造の採用～	筑後川河川事務所	松田 征之助
	9	14:30～14:48	筑後川下流用水施設における機能診断調査での新しい知見と独自の取組	独立行政法人水資源機構	藤野 百江
	10	14:50～15:08	大野川河床低下時の赤潮発生メカニズムと抑制対策について	大分河川国道事務所	古川 裕樹
		15:10～15:20	発表者入れ替え		
2D	11	15:20～15:38	番匠川の堤防掘り起こし被害について	佐伯河川国道事務所	原田 佳奈
	12	15:40～15:58	川内川流域における外来水草の繁殖抑制に向けた取り組みについて	鶴田ダム管理所	久保 祐太郎
	13	16:00～16:18	大分川と大野川 における竹林の刈り取り駆除のモニタリング調査について	大分河川国道事務所	安部 寿雄

第3会場（Ⅲ部門）

『アカウントビリティ、働き方改革、DX、用地補償等』

〔働き方改革・業務改善・DX、アカウントビリティ・広報活動、用地補償、その他〕

（第1日目）令和3年7月29日（木）

セッション	No.	発表時間	発表課題名	所属	発表者
3A	1	10:30～10:48	BIMを用いた建築設計の効果について	営繕部	磯谷 優里
	2	10:50～11:08	関係機関との協働	長崎河川国道事務所	山口 俊輔
	3	11:10～11:28	民間企業の視点から見た占用制度への意見	鹿児島国道事務所	亀石 豊久
	4	11:30～11:48	川内川河川事務所におけるICT施工、遠隔臨場の取り組み等について	川内川河川事務所	竹本 雄一
		11:50～12:50	昼 食		
3B	5	13:00～13:18	大隅河川国道事務所公式Twitterによる広報活動の取り組みについて	大隅河川国道事務所	竹田 太地
	6	13:20～13:38	地整の枠を超えた新たな課題解決手法によるDX事例	防災室・企画部 共同	元水 孝樹
	7	13:40～13:58	VR技術を活用した河川堤防点検コンテンツについて	九州技術事務所	長坂 美和
		14:00～14:10	発表者入れ替え		
3C	8	14:10～14:28	VR技術を活用したコンクリート橋梁メンテナンスモデルの開発について	九州技術事務所	俵野 陽一郎
	9	14:30～14:48	これからのダム事業のスタンダードに ～立野ダム建設事業におけるインフラDXの推進～	立野ダム工事事務所	遠山 哲生
	10	14:50～15:08	近年の社会情勢等を踏まえた人材育成に関する企画課の取り組み	企画部	大久 聖也
		15:10～15:20	発表者入れ替え		
3D	11	15:20～15:38	働き方を変えた、リモート講師としての挑戦	九州技術事務所	黒木 隆
	12	15:40～15:58	不動産の証券化に伴い信託財産となっている土地の取得について	佐賀国道事務所	濱田 翔平
	13	16:00～16:18	延岡河川国道事務所の職場環境改善について	延岡河川国道事務所	増尾 颯大

（第2日目）令和3年7月30日（金）

セッション	No.	発表時間	発表課題名	所属	発表者
3E	14	9:30～9:48	用地取得における相続発生 ～その課題と解決について～	川辺川ダム砂防事務所	黒木 隆一
	15	9:50～10:08	SNS活用に向けての取組について	企画部	水之江 涼
	16	10:10～10:28	川内川CIMモデルの構築に向けて	川内川河川事務所	坂田 朋幸
	17	10:30～10:48	日本一有名なサイクリングルートを目指して	長崎県	野崎 泰智
		10:50～11:00	発表者入れ替え		
3F	18	11:00～11:18	近年の九州地方整備局リクルート活動について	企画部	上杉 和
	19	11:20～11:38	コロナ禍における牛津川遊水地事業の住民説明会の工夫	武雄河川事務所	金井 康将
	20	11:40～11:58	国道210号赤岩地区災害時における広報活動について	大分河川国道事務所	西村 温

第4会場（IV部門）

『まちづくり、交通、環境、事業効果等』

[まちづくり・地域づくり・観光、交通、環境・景観、事業評価・事業効果・ストック効果]

(第1日目)令和3年7月29日(木)

セッション	No.	発表時間	発表課題名	所属	発表者
4A	1	10:30~10:48	童門ダムから地域活性化 ～ドラゴンキャンプ場のオープンからこれまで～	菊池川河川事務所	福原 峻介
	2	10:50~11:08	阿蘇特有の自然景観に配慮した計画・設計コンセプト ～砂防堰堤整備への反映に向けた取り組み～	阿蘇砂防事務所	田中 祐一
	3	11:10~11:28	自立性・継続性のあるインフラツアーによる地域活性化について	立野ダム工事事務所	中尾 隆宏
	4	11:30~11:48	本庄川のかわまちづくりについて	宮崎河川国道事務所	山口 貴也
		11:50~12:50	昼 食		
4B	5	13:00~13:18	地元小学生と実施する本明川ダム環境保全の取り組みについて	長崎河川国道事務所	手島 優希
	6	13:20~13:38	立野ダムにおけるCIMを活用した景観検討について	立野ダム工事事務所	落合 薫平
	7	13:40~13:58	五ヶ瀬川郷土愛を育むかわまちづくりについて	延岡河川国道事務所	鶴田 和希
		14:00~14:10	発表者入れ替え		
4C	8	14:10~14:28	令和2年7月豪雨における道路交通マネジメント検証	道路部	山内 聡士
	9	14:30~14:48	観光シーズンにおける高千穂峡周辺の渋滞緩和に向けた取組について(中間報告)	延岡河川国道事務所	下岡 敏樹
	10	14:50~15:08	古賀市の生活道路対策について	福岡国道事務所	木下 真一
		15:10~15:20	発表者入れ替え		
4D	11	15:20~15:38	ETC2.0を活用したコロナ禍における渋滞分析と新しい生活様式に向けたTDM施策について	北九州国道事務所	松石 耕太
	12	15:40~15:58	九州地方整備局における事業評価の取り組みと今後に向けた一考察	企画部	大窪 雄大
	13	16:00~16:18	国道202号春吉橋の賑わい空間のあり方について	福岡国道事務所	重松 華菜

(第2日目)令和3年7月30日(金)

セッション	No.	発表時間	発表課題名	所属	発表者
4E	14	9:30~9:48	空港能力と空港利便性の向上 ～福岡空港国内線ターミナル地域再編整備事業～	博多港湾・空港整備事務所	山村 洸貴
	15	9:50~10:08	厳原港離島ターミナル整備事業について ～安定した離島生活の確保に向けて～	長崎港湾・空港整備事務所	浦山 祥一郎

第5会場（V部門）

『イノベーション』

[新技術・i-Construction・コスト削減・創意工夫]

(第1日目)令和3年7月29日(木)

セッション	No.	発表時間	発表課題名	所属	発表者
5A	1	10:30~10:48	河川事業及び道路事業を支える統合通信網の変革について	企画部	大西 祐一郎
	2	10:50~11:08	効率的なICT施工の取り組みに関する一考察	九州技術事務所	吉村 隆仁
	3	11:10~11:28	新門司沖土砂処分場(Ⅱ期)事業における積極的なICTへの取り組みについて	北九州港湾・空港整備事務所	立石 悠貴
	4	11:30~11:48	港湾工事における長尺グラウンドアンカー工施工上の創意工夫について	志布志港湾事務所	澤田 鉄司
		11:50~12:50	昼 食		
5B	5	13:00~13:18	九州初!!宮崎のLCC縮減に向けた取組について ~国道10号花見地区コンクリート舗装工事~	宮崎河川国道事務所	馬場 ひなの
	6	13:20~13:38	有明海沿岸道路における遠隔臨場の取り組みについて	有明海沿岸国道事務所	今村 直人
	7	13:40~13:58	トンネル工事におけるIT等を活用した施工事例について	大分河川国道事務所	朝長 佑世
		14:00~14:10	発表者入れ替え		
5C	8	14:10~14:28	下関港西山地区の岸壁改良の完了について	下関港湾事務所	小松 大介
	9	14:30~14:48	伊万里港臨港道路における橋梁の桁架設について ~複雑な線形の桁架設に挑む~	唐津港湾事務所	尾崎 睦
	10	14:50~15:08	細島港南沖防波堤築造工事におけるICT技術の活用について	宮崎港湾・空港整備事務所	野田 博文
		15:10~15:20	発表者入れ替え		
5D	11	15:20~15:38	野尻川におけるCIMを用いた除石管理について	大隅河川国道事務所	中島 万依
	12	15:40~15:58	既存のLPデータによる3次元設計について	遠賀河川事務所	平尾 亮二
	13	16:00~16:18	ダム建設における留意点と工夫点(電気通信設備) ~小石原川ダム事業を経験して~	独立行政法人水資源機構	吉田 尚永

(第2日目)令和3年7月30日(金)

セッション	No.	発表時間	発表課題名	所属	発表者
5E	14	9:30~9:48	国道57号森山拡幅事業〔(仮称)下井牟田赤崎高架橋〕における床版部・地覆部のコンクリート品質向上に向けた試験施工の経過報告について	長崎河川国道事務所	横田 健翔
	15	9:50~10:08	技術提案・交渉方式(ECI方式)による二重峠トンネル施工の工期短縮について	熊本河川国道事務所	永松 寿隆
	16	10:10~10:28	簡単!現場に根付く遠隔臨場	福岡国道事務所	盛永 敏央